

あさひ
住自協

輝くあさひ

第 75 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
会長 本藤俊彦
編集 広報部 会
印刷 株式会社双真

令和7年度朝陽地区二十歳の成人式 「自分を信じ、未来を切り開く」

1月10日晴天の中、東部文化ホールで二十歳の成人式が開催され、80名の新成人が参加しました。

記念品贈呈では、住自協と白バラ会からの記念品が北屋島の橋詰あすかさんに手渡されました。

来賓祝辞では、西脇市議がコロナ禍で学校行事が制限された世代であることに触れ、「未来は自ら切り開くものです」と励ましの言葉を述べました。浅川市議は自身の経験を交え「社会は大きな変換点にあり、誰もが無限の可能性を持っています。自分の花を咲かせてください」と語りました。山岸悟選挙管理委員は、若年層の投票率が低い現状を示し、一票の大切さを訴えました。

新成人代表の横田莉佳さん(北屋島)は、育ててくれた家族や周囲の方々への感謝を述べ、医療看護の道を選んだ自身の決意を語りました。「自分を信じて進んでいきたい」という力強い言葉が印象的でした。

後半の記念演奏会では、長野市出身の汐入規予さん(アコーディオン・ボーカル)と新村邦明さん(ピアノ)が多様な曲を披露しました。アンコールでは会場全体で歌声が広がり、汐入さんが客席に降りてマイクを向ける場面もありました。声帯手術後の回復に時間を要する中、リハビリを続けておられ、「人生100年時代、強いものではなく変化できるものが生き残る」という言葉が会場に深く響きました。

最後には、朝陽小6年2組担任だった上野哲俊先生から「人を理解する姿勢を大切にしてほしい」との温かなエールが送られました。

新たな一歩を踏み出した皆さんが、自らの可能性を信じ、地域と社会の未来を力強く切り開いていくことを期待しています。



令和8年度 朝陽地区住民自治協議会定期総会のお知らせ

日時：令和8年4月18日（土）午後2時～ 場所：朝陽支所2階集会室

朝陽地区住民自治協議会
(事務局) 長野市北尾張部226-9
電話・fax 026-219-1068
ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口：14,781人(+2) 6,531世帯(+6)
=2026年3月1日現在。()内は同年前月比
(内訳) 南屋島 774人(+3) 北屋島 471人(±0) 北長池 2,485人(±0)
北尾張部 2,442人(-8) 石渡 2,593人(+3) 南堀 2,656人(+2)
北堀 2,508人(-6) 桜新町 852人(+8)

昭和100年と音楽

昭和100年を記念し、懐かしの名曲を楽しむ音楽イベントが朝陽支所2階で開催され、42名が参加しました。今回は、北屋島の初内さんのご親戚が所属する金管アンサンブル「スプリッツプラス」の5名が来場し、華やかな生演奏を披露しました。東京ブギウギに始まり、宇宙戦艦ヤマト、津軽海峡冬景色など幅広い選曲で会場を魅了。「上を向いて歩こう」では参加者も一緒に歌い、会場が一体となる場面もありました。途中には、昨年のコーヒー講座参加者によるCoffeeブレイクも挟まれ、和やかな雰囲気が広がりました。後半はリーダー初内さんによる軽妙なMCで進行し、時代劇テーマ曲や朝ドラ「てっぺん」の主題曲「ひまわり」などを演奏。メンバー紹介を交えながら、刑事ドラマのメドレーやトロンボーンを中心にしたユニークな曲も披露されました。リクエストコーナーでは「雪国」などが選ばれ、最後は「マツケンサンバ」で大盛り上がり。アンコール曲を含め、楽しいトークと迫力ある演奏であっという間の2時間となり、参加者からは「感動した」との声が寄せられました。



ともにあたらしくジェンダーを地域で考える

11月8日、第32回朝陽地区人権を考える住民集会在、人権を考える住民集会実行委員会の主催で朝陽公民館体育館にて開催され、100名程の住民が参加しました。

講演に先立ち、意見発表として朝陽小学校児童会長の植木こはるさん、ともだち委員会委員長の前田葵さんのビデオメッセージによる発表があり、小学校6年生の真剣に発表する姿がスクリーンに上映されました。

次に基調講演として「ともにあたらしくジェンダーを地域で考える」を演題に、講師に河原千春氏、資料朗読に蔵田玲子氏を招き講演が行われました。

河原千春氏は信濃毎日新聞文化部記者、お茶の水女子大学大学院博士前期課程（人間文化創成学科ジェンダー社会科学専攻）在学中、（公財）日本女性学習財団キャリア支援デザイナー、（一社）アウェア認定デートDV防止プログラム・ファシリテーター実施者、法政大学沖縄文化研究所奨励研究員であり、2013年に出会った女性史研究家の「もろさわようこ」さんの考えに共感した旨の紹介がありました。

講演は、もろさわようこさんの著書や論文を紹介するとともに、「女らしさ、男らしさ」というものは、社会的につくられたり期待されたりしている性別役割の決めつけであり、それが大きな男女格差（ジェンダー・ギャップ）を生み、「らしさ」の期待と縛りが、一人ひとりが本来持つ潜在的な力を発揮できなくさせると語りました。また、資料として参加者に配布された、信濃毎日新聞の取材班の一員として担当した長期連載「ともにあたらしくジェンダーを地域から」の記事を、長野朝日放送元ニュースキャスターの蔵田玲子さんが朗読する演出で披露し、「長男の嫁」扱いやDV被害の例などを挙げ、自らの無意識の加害性がある事に、気が付いてほしいと語っていました。

健康講座が開催されました

健康増進部会主催の健康講座が、11月20日に朝陽支所2階で行われました。当日は三陽保健センターから保健師の保谷さんと管理栄養士の伊藤さんを講師にお迎えし、「生活習慣病とその改善」をテーマにお話しいただきました。講座では、日々の生活習慣が引き起こすさまざまな症状について分かりやすい説明があり、特に高血圧へとつながる仕組みや、その予防に向けた実践的なポイントが紹介されました。参加者22名は熱心に耳を傾け、健康づくりへの意識を高める有意義な時間となりました。

朝陽地区社会福祉大会

昨年11月22日（土）、朝陽支所2階会議室において、令和7年度「朝陽地区社会福祉大会」が開催されました。大会では、JA長野厚生連南長野医療センターの認知症看護認定看護師・福島さんが講演し、認知症が起こる仕組みや主な症状、日常生活における接し方のポイントなどについて、具体例を交えながら分かりやすく説明しました。

続いて行われたトークセッションでは、北堀の金井さん、介護施設「コンフォートきたながいけ」の川相さん、長野市ケア推進課主幹の富岡さんが登壇。それぞれの立場から現場での体験や支援の工夫、地域で支えることの大切さが語られ、参加者にとって大変勉強になる有意義な会合となりました。



わがまち紹介(南屋島)

今年度から、年1回のペースで朝陽地区内の「区」を取り上げ、それぞれの名所や特色、活動などを紹介していきます。今回は1区「南屋島」です。

[1. 南屋島について]

朝陽地区の南西部に位置しており、農地の多い地域です。千曲川の河川敷に面しており、落合橋までの広い範囲を含みます。

住所表示は北屋島と共に「長野市大字屋島」です。余談ですが日本国内で「屋島」という住所は「屋島の戦い」で有名な香川県高松市と、長野市だけです。

[2. 名所史跡]

お宮はインター線の「屋島」交差点脇にある「皇大神社」です。慶安年間(1650年頃)の創建と言われ、以前は南向きでしたが長野オリンピックの道路拡幅により、現在は東向きに移築されています。毎年4月と10月にお祭りが行われます。①

権現様は屋島橋から河川敷側を上流に上ったところにあります。昔からの船着き場であり、水難除けの神様や堤防工事の功労者が祀られています。②

南屋島公民館前の道路は昔の街道です。脇には万延元年(1860年)建立の庚申塔が今も残っています。③



[3. どやぼうについて]

南屋島は古く「どやぼう」と呼ばれ、「土屋坊」に由来します。慶長年間(1596~1614年)、武田家の家臣だった土屋氏が数名とともにこの地を開墾し、後に出家して「土屋庵」と称し、自らの墓所としたことから、「土屋坊の墓所がある場所」として地名が広まったと伝えられています。千曲川対岸の綿内村の新田として発展し、安政6年(1859年)に村として成立。その後、明治19年(1886年)に屋島村、明治22年(1889年)に朝陽村へと変遷しました。令和元年(2019年)には、南屋島公民館で「土屋坊村独立160周年記念式典・講演会」が開催されています。

朝陽地区球技大会では南屋島のドッジボールチームも「ドヤボーズ」の名前で参加しています。

今年度は本藤区長の呼びかけて「どやぼう」を一種のブランドとして区民の皆さんに知ってもらう取り組みを進めています。ロゴマークをデザインして、Tシャツも製作して希望者に頒布しました。区の協議員や常会長が行事やごみステーション当番時に着用する反射ベストにも「土屋坊」を入れて新調し、区民の皆さんが目にする機会を増やしています。

2024年秋から「DOYABOカフェ」毎月開催、参加費100円で本格的コーヒーとおしゃべりを楽しんでいます。2025年10月には「DOYABOカフェ夜の部」と銘打って、生ビールやおつまみ、豚汁などを提供。Tシャツのお披露目もしました。来年度以降も楽しい企画で地区を元気にしていきたいと思えます。

[4. 武田徹さん講演会]

11月、区民のご縁でラジオパーソナリティの武田徹さんを招き、「つれづれ散歩道37周年」記念講演会を開催しました。当日は60名以上が公民館に集まり、前半は武田さんの軽妙な語りや、幕末の「土屋坊騒動」を題材にしたラジオドラマを楽しみました。後半は奥様の朗読に合わせたハーモニカ演奏が披露され、その見事なエンターテイナーぶりに会場が魅了されました。



北堀落語会 北堀

11月1日、北堀公会堂にて落語家「快樂亭狂志」さんを語り手に招き、第11回「北堀落語会」が公民館主催で行われました。

快樂亭狂志さんは、立川談志の弟子の快樂亭ブラックが名付け親の、長野市の小学校で教師を務めながら活動するアマチュア落語家で、北堀区では公民館教養部の恒例行事として毎年登壇していただいております。

この日は、ご自身の入院生活のまくら話からの「カラオケ病院」と、熊の出没やハラスメントに関する小学校での話題から入る「縁結び」という2つの題目が披露され、30名程集まった区民は心地よい口調を聴きながら、笑いの世界に引き込まれました。



新春 書き初め会 南堀



1月4日(日)、南堀公民館にて『書き初め会』が開催されました。公民館行事として初めての試みでしたが約30名集まり、

親子や友達同士と一緒に書きながら教えあったり見せあったりして、自宅で書くのとは一味違った雰囲気の中で書き初めを楽しんでいました。パソコンやスマホの普及で文字を書く機会が減っていく世の中、一文字ごと丁寧に書くことの大切さを感じました。

書き初め会は、平安時代の「吉書の奏(きっしょのそう)」に由来し、新年に書道を楽しむ文化として広まり、江戸時代には庶民の間でも行われ、『字が上手になることを祈願する』と『今年一年の目標や抱負を書く事で行動を新たにする』という意味を持っています。



桜新町どんど焼き 桜新町

毎年恒例の桜新町どんど焼きが、育成会の主催のもと1月11日に行われました。町内の各家庭を回って正月飾りや古いお札などがたくさん集められ、育成会と公民館役員の前日からの準備のお陰で、桜新町中央公園にやぐらが組み立てられました。やぐらに火をつけられると、徐々に火の勢いが増し、その後やぐらは勢いよく燃え上がりました。



小さなお子さんを連れた家族も多数見られて、子供たちの喜ぶ声と笑顔が広まり、炎の熱がやぐらの近くの参加者へとつたわり周囲は活気付きました。日本の伝統行事のどんど焼き、老若男女が集まった大会は家内安全や無病息災を願いながらみんなでお餅を焼きました。子供たちにとってもすてきな思い出になったどんど焼き大会は、正月行事の終わりを感ずる一日でもありました。

新年総会、臨時総会を開催 北尾張部

本年1月1日(木)午後、北尾張部公民館において北尾張区の新年総会が開かれました。新春の穏やかな雰囲気の中、令和8年度の区三役および公民館役員が選出され、新しい運営体制が決まりました。その後に行われた臨時総会では、地縁団体の法人化と区費改定について審議が行われ、いずれも承認されました。地縁団体とは自治会や町内会など、地域に住む人々が、住みよい街づくりを目的に自主的に運営する団体で、法人化により財産管理や事業運営がより円滑になることが期待されます。新しい年の幕開けにふさわしく、北尾張区が新たなスタートを切る総会となりました。今後は、地域活動のさらなる充実と、住民同士のつながりが一層深まっていくことが期待されます。



「フリーカフェ・いしわた」が初めて開かれました 石渡

石渡公民館で11月24日、「フリーカフェ・いしわた」が開催されました。福祉推進員支部長の宮澤一成さんが中心になって実現した初めての試みです。宮澤さんによると、フリーという言葉には年齢差、性差、会話の時間制約を超えて、誰でも自由に参加して交流できる場にしたいという願いを込めたとのこと。約30人の区民が集まりました。

午前は、らくらく亭洋々・いとしさん夫妻による落語、午後は石渡民生児童委員による紙芝居が企画されました。落語は、いとしさんがおかしな病院をテーマに歯切れのよいテンポで話し、洋々さんが古典落語「時そば」を熱演しました。参加者からは笑いとお手拍子が起きました。



北長池どんど焼き 北長池



1月12日(月)北長池どんど焼きがありました。朝から地域の方や育成会の皆さんにより正月飾りの回収や組み立てが行われました。前日の大雪警報もあり天気が心配されましたが、午後になると青空が広がり気持ちの良い年初めの行事となりました。大きなやぐらのお焚き上げが始まりあっという間に火が落ち着くと定番のお餅だけではなくマシュマロを焼いて美味しく食べている子どもたちの姿を見ると時代の移り変わりを感じました。今年も沢山の地域の皆さんが集まり、1年の無病息災、家内安全、五穀豊穰を願いました。

北屋島区民交流広場・もちつき大会 北屋島

12月7日(日)、北屋島公民館にて「区民交流広場 もちつき大会」が開催されました。公民館役員や育成会の皆さんは前日からもち米の準備や杵・臼の整備を行い、当日に向けて入念に準備を進めました。



きな粉・あずき・胡麻・大根おろしなど多彩な味付けも用意され、もち米の炊き上がりとともに作業が本格的に始まりました。もちつきが始まると、参加者は慣れない杵に苦戦しながらも、米粒が次第におもちへ変わっていく感触を楽しみ、笑顔で力を合わせてつき上げました。つきたてのおもちは温かいうちに味付けされ、皆でおいしく味わいながら交流を深めました。老若男女多くの区民が参加し、地域のつながりを感じる楽しいひと時となりました。



南屋島芸能祭 南屋島

12月7日(日)、南屋島公民館で恒例の芸能祭が開催されました。朝の冷え込みの中、役員が9時から会場準備にあたり、13時より開会しました。今年は6組が出演し、会場は終始あたたかな拍手に包まれました。トップはオヤジバンド「モンチャーズ」。昭和100年にちなみ、昭和の名曲を中心に披露し、アンコールまで大いに盛り上がりました。続いて、13年ぶりの出演となる「こもれびハーモニー」が美しいハーモニーを響かせ、三帰寮の児童と職員によるピアノ演奏、長寿会30名の合唱と、多彩なステージが続きました。さらに太田さんのハーモニカ独奏には、結成24年の実力派カルテット「レインボーズ中野」も加わり、迫力ある共演となりました。休憩後はNサバイバルシアターによる書き下ろし演劇「自治会長になりたい」が上演され、最後は出演者紹介とビンゴゲームで締めくくられました。参加人数は83名と盛況で、地域の魅力と温かさがあふれる一日となりました。



朝陽市場「軽トラ市」及び菊芋収穫・販売

11月3日の文化の日、朝まで降った雨が軽トラ市の菊芋収穫が始まる直前に晴れました。北西の空には虹も出て一部で青空も見えだし開催となった軽トラ市。あさひかがやき実行委員会の主催による軽トラの荷台に地元産の野菜が乗せられ、販売が始まりました。軽トラには、菊芋だけでなく、大根や白菜やネギなど地元の様々な採れたて野菜がたくさんありました。その横ではポップコーンの販売も。すぐ近くには、家族で掘り起こし出来る菊芋が埋まっており、多数の参加者がぬかるんだ土をものともせず親子で掘り起こし始めました。菊芋掘りに参加した子供連れの家族も笑顔が溢れていました。子供だけでなく大人も滅多にできない菊芋掘り起こし体験は、日常を忘れて夢中になって楽しんでいる様子が至る所で見られました。午前中だけの短時間でしたが、町内会に関わる方が何人も来場され、みなさん思い思いの時間を過ごされました。



第60回「史跡めぐり」

11月15日、第60回「史跡めぐり」が、朝陽地区住民自治協議会公民館部会と長野市立朝陽公民館の共催で、開催されました。今回は晩秋の上越市から糸魚川市を巡り、戦国時代から地球誕生まで壮大な時間を感じる旅です。

春日山城址では上杉謙信の居城を訪ね、本丸跡から日本海や頸城平野を一望。険しい道なりに現代人の運動不足を痛感。また、林泉寺では謙信公墓所や宝物館を拝観し、義に厚い名将の逸話に思いを馳せました。

昼食はマリンドリーム能生で新鮮な海の幸を堪能し、豊富なお土産の数々に、選ぶ鋭い眼光が昼の眠気も覚ましました。

フォッサマグナミュージアムでは地球や生命誕生の歴史に触れ、悠久の時を巡る感覚を味わいました。

最後は岩の原葡萄園でワイン試飲やガイドの話に笑顔が広がり、歴史と自然、味覚と文化を堪能した一日が参加者の心に刻まれたことでしょう。



～粋な心でにぎります～



寿司出前・仕出し・各種宴会
御法事・御慶事・オードブル
御弁当・出張寿司パーティーなど
北尾張部396-10
TEL/FAX 244-1221

自動車・火災・生命・各種保険代理店

保険のことならまかせて安心

あんしん企画

TEL 026-229-7171

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社

丸 陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町綱島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108

完全個別指導塾

学研CIAスクール

対象：小学生、中学生、高校生
教科：国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!
学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026) 256-9131 長野市北尾張部385



学校法人
理知の杜

松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379



読心力・考える力——伸びる学力

学研教室

幼児・算数・数学・国語/英語

学研 北尾張部教室 長野市北尾張部385 256-9131